

2022年9月25日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第65巻第24号(通算3306号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とち  
神様がすべての人と共におられる  
あかし きょうかい  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

## せいれいこうりんせつ だい しゅうじつれいはい 聖霊降臨節 第17主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしょうめつ  
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しんめいき しょう せつ  
招きの詞 申命記 15章 10節

さんび ばん よ きょうだんさんびかいいんかい  
賛美歌 21-4番「世にあるかぎりの」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ ふくいんしよ しょう せつ  
聖書 マルコによる福音書 14章 1-9節

いの ばん こうゆ きょうだんさんびかいいんかい  
お祈り 賛美歌 21-567番「ナルドの香油」(©教団讚美歌委員会)

メッセージ 「思い出に残るもの」 牛田 匡 牧師

さんび ばん うつく だいち  
賛美歌 21-424番「美しい大地は」(©JASRAC)

しゅいの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

たんじょうしゃしゅくふくしき うしだ ただし ぼくし  
誕生者祝福式(\*) 牛田 匡 牧師

ささげもの  
献げ物(\*\*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし  
祝福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちよさくけんしょうめつ  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほうこく ページ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで9月生まれの方(と今年度9月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

\*\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 申命記 15章 10節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

彼に惜しみなく与えなさい。与えるときに惜しんではならない。そのことで、あなたの神、主は、あなたのすべての働きとあなたのすべての手の<sup>わざ</sup>業を祝福してください。

聖書 マルコによる福音書 14章 1-9節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>さて、<sup>すぎこしさい</sup>過越祭と<sup>じょこうさい</sup>除酵祭の二日前になった。祭司長たちや律法学者たちは、どのようにイエスをだまして捕らえ、殺そうかと<sup>はか</sup>謀っていた。<sup>2</sup>彼らは、「祭りの間はやめておこう。民衆が騒ぎ出すといけない」と話していた。

<sup>3</sup>イエスがベタニアで、<sup>やまい わずら</sup>規定の病を患っているシモンの家において、食事の席に着いておられたとき、一人の女が、純粹で非常に高価なナルドの香油の入った<sup>せっこう つぼ</sup>石膏の壺を持って来て、その壺を壊し、香油をイエスの頭に<sup>そそ</sup>注ぎかけた。<sup>4</sup>すると、ある人々が<sup>ふんがい</sup>憤慨して互いに言った。「何のために香油をこんなに無駄にするのか。<sup>5</sup>この香油は三百デナリオン以上に売って、貧しい人々に<sup>ほどこ</sup>施すことができたのに。」そして、彼女を厳しくとがめた。<sup>6</sup>イエスは言われた。「するままにさせておきなさい。なぜ、この人を困らせるのか。私に良いことをしてくれたのだ。<sup>7</sup>貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるから、したいときに良いことをしてやれる。しかし、私はいつも一緒にいるわけではない。<sup>8</sup>この人はできるかぎりのことをした。つまり、前もって私の体に香油を注ぎ、<sup>まいそう</sup>埋葬の準備をしてくれた。<sup>9</sup>よく言っておく。世界中どこでも、<sup>ふくいん</sup>福音が宣べ伝えられる所では、この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう。」



《先週のメッセージより》 2022年9月18日 敬老の日礼拝

「愛（I）は間に」より

岡嶋千宙伝道師

聖書 ルカによる福音書 17章20-21節

幼いころ、大人になるというのは、自分が思い描く夢や目標に向かって、自覚的に、前向きに、思い通りの歩みを進めることなのだと思います。今、自分がその大人になってみて思います。年を取るとというのは、そんなに単純ではない、と。平坦ではなく、凸凹で、不確実。大人の階段を登るのは険しい。思い通りにいかないことの連続で、夢や目標を見失うこともある。前向きになれなくて、立ち止まってしまうこともある。楽しいこともあれば苦しいこともあって、喜びも悲しみもごっちゃごちゃ。一人の人生が不確実で波瀾(はらん)に満ちたものだから、その一人が大勢集まった社会だって波瀾に満ちたもの。互いの思いを誤解して、意思疎通ができなくて、相手の存在を受け入れられなくて、仲が悪くなって、ケンカすることもあります。思い通りにはならない人生。不確実なことに満ちた世界。

今から約2000年以上前、わたしたちと同じように、この不確実な世界に生きた人イエスは、語りました。そんな世界のただ中に、神はいる。「あなたがたの」、したがってイエスの言葉を聴く側からしてみれば、「わたしたちの間に」、神はいるのだと。「間」、それは何より、人と人との間。全ての時代、全ての場所に生きる「わたし」が、「あなた」との間につむぐ関係のなかに、神がいる。人生経験の違い、環境の違い、文化・思想の違い、年齢の違い、様々な違いのある人々が交わるその間に神がいる。そしてもう一つ。もっと個人的に、一人の「わたし」の歩みのただ中に、神がいる。それぞれにとっての始めと終わりの間に、その歩みの一つ一つに、神がいる。

一人一人が、様々な道を、様々な苦悩しながら歩んできた人生。これから歩む人生。その歩みを共に分かち合う時と場としての教会。若い人も、年を重ねた人も。元気な人も、しんどい人も。それぞれが神と共に歩む日々。その日々を、苦しみも楽しみも、悲しみも喜びも、ひっくるめて、分かち合う。分かち合うのではなくても、そっとそれぞれの存在を感じることができる。そんな人と人との間に、築かれていく教会。今日も、わたしの間に、わたしたちの間に、神が、神の子であり、愛であるイエスが居続けています。その愛に感謝して、これからの日々を、わたしの日々を、わたしたちがともにある日々を、歩んで参りたいと願います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 9月18日 敬老の日礼拝（聖霊降臨節 第16主日礼拝）

主日礼拝出席 大人5名 中継動画再生数 13回  
 献金 大人4,405円 感謝

敬老の日礼拝として、ZOOMを利用して、柏原市にあります特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」と「第二好意の庭」の入居者の方々と一緒に礼拝しました。また併せて「旭ヶ丘好意の庭デイサービスセンター」と3ヶ所に、教会からお花のプレゼントをいたしました。



◎次週 2022年10月2日（日）世界聖餐日礼拝  
 （聖霊降臨節 第18主日礼拝）

招きの詞 詩編 96編1-3節  
 聖書 マルコによる福音書 14章10-21節  
 メッセージ 「愛する裏切り者」 水谷憲牧師  
 賛美歌 209番（©讃美歌編集委）、481番（©讃美歌改訂委）、72番（©讃美歌委）  
 礼拝は、インターネットで中継配信いたします。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・10月3日（月）15時から17時にかけて、住道一粒教会にて、河内地区有志教会牧師会が行われます。
- ・10月4日（火）13時半から15時にかけて、関西学院大学（阪急・甲東園駅より徒歩15分）にて、キリスト教と文化研究センター創立25周年記念講演会「『福音家族』は世界を救う」が開催されます。講師は、晴佐久昌英（はれさく・まさひで）神父（カトリック浅草教会・上野教会主任司祭）です。参加費は無料で、申し込みは不要です。

「福音家族」、それはあらゆる壁を越えて共に集い、「一緒ごはん」で分かち合い、血縁以上の家族となって互いに助け合う、コミュニティづくり。それこそは人類が本来生きていた楽園であり、イエスはその到来を宣言した神の国でもあるのではないか。福音の可能性の中心はそこにある。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
10/2	水谷牧師	（世界聖餐日）ユーカリスト
10/9	牛田牧師	（神学校日）教会を考える会
10/16	岡嶋伝道師	聖書を読む会？
10/23	牛田牧師	収穫感謝礼拝・おにぎり支援



関西学院大学  
 キリスト教と文化研究センター(RCC)  
 創立25周年記念講演会

総合テーマ：キリスト教学校が若者に何を伝えていけるのか

## 「福音家族」は世界を救う

格差と分断、排除と孤立の現代社会を救う道として、「福音家族」を提唱したい。すなわち、あらゆる壁を越えて共に集い、「一緒ごはん」で分かち合い、血縁以上の家族となって互いに助け合う、コミュニティづくりである。それこそは人類が本来生きていた楽園であり、イエスはその到来を宣言した神の国でもあるのではないか。キリスト教大学が教示すべき福音の可能性の中心はそこにあることを、実践の現場から呼びかけたい。

2022年10月4日（火） 13:30～15:00

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G号館202号教室



講師：晴佐久 昌英 神父

1957年東京生まれ。武蔵美短大、上智大神学部、東京カトリック神学院卒。87年カトリック司祭に叙階。エッセイ集、送教集、信仰入門書、詩集、絵本等著書多数。

近著に「福音家族」（オリエンツ宗教研究所）など。現在カトリック浅草教会・上野教会主任司祭。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催方法が変更になる可能性があります。ホームページをご確認ください。

お問い合わせ：関西学院大学 キリスト教と文化研究センター（RCC） TEL.0798-54-6019